

<b>過敏症</b>	ルミガンに含まれるピマトプロストまたはその他の成分に対するアレルギーをお持ちの方は、ルミガンの使用はできません。
<b>眼瞼・虹彩色素沈着</b>	ルミガンの使用により、まぶたの皮膚が黒ずむことがあります。（回復可能な副作用です） ルミガンの使用により、虹彩に色素沈着を起こすことがあります。（回復不可能な場合があります）
<b>眼圧への影響</b>	眼圧障害のある方は、かかりつけの眼科医師や眼圧検査担当者にルミガンの使用をお伝えください。
<b>感染症</b>	感染症等を防ぐため、一本のアプリケーターを何度も使用しないでください。 感染症等を防ぐため、一本のアプリケーターを両目に使用しないで下さい。 アプリケーター先端が他の物に触れないようにして下さい。
<b>コンタクトレンズ</b>	ルミガンに含まれる塩化ベンザルコニウムは、ソフトコンタクトレンズに吸収される可能性があります。コンタクトレンズは、本剤を塗布する前に外して下さい。 また、再装着する場合には、塗布後 30 分経過してからにしてください。
<b>塗布部位以外の毛髪成長</b>	皮膚表面でルミガンに繰り返しふれる部分があると、その部分の毛髪が伸びる可能性があります。 アプリケーターを用いて、上眼瞼辺縁部のまつ毛の際にのみルミガンを塗布してください。 頬など他の部分についてした場合、余分なルミガンをそとふき取るようにして下さい。
<b>眼内炎症</b>	活動性のブドウ膜炎など眼内炎症のある方は、炎症が増悪する可能性があります。 これらの疾患がある方は、ルミガンの使用はできません。
<b>黄斑浮腫</b>	高眼圧症に対するルミガン投与中の方に、嚢胞様黄斑浮腫などの副作用が報告されています。 無水晶体患者、水晶体後囊破損の偽水晶体眼患者、または黄斑浮腫の危険因子がある方は、ルミガンの使用はできません。
<b>妊娠中の使用</b>	ルミガンの使用に関して、妊婦を対象とした適切かつ十分な比較対照群を設けた試験は実施されていません。妊娠中の方は、ルミガンの使用はできません。
<b>授乳婦の使用</b>	ヒト乳汁中にルミガンが排泄されるかどうかは不明です。動物試験ではルミガンの成分が乳汁中に排泄されることがわかっています。授乳中の方は、ルミガンの使用はできません。
<b>小児への使用</b>	小児ではルミガンの使用に関して、安全性および有効性は確立されていません。 小児や未成年の方は、ルミガンの使用はできません。
<b>高齢者への使用</b>	高齢者と高齢者以外の成人の方との間で、ルミガンの使用に関して安全性に差は認めません。 高齢者の方のルミガンの使用は差し支えありません。